



RI 第 2 6 1 0 地区

東となみロータリークラブ会報

2010-2011 年度 No.47

事務局 〒939-1635 富山県南砺市福光 7336-4 福光会館 3F

ふくみつ光房内 TEL 0763-53-1333 F A X 0763-53-1334、

inashore@athena.ocn.ne.jp

2011-2012 年度 会長 高瀬顕正、幹事 浅田裕二

2011-2012 年度 RI テーマ



「こころの中を見つめよう

博愛を広げるために」

(カルヤン・パネルジー会長)

例 会 記 録

第 1 6 2 5 回例会

平成 24 年 6 月 20 日(水) 井波文化センター

1. 点 鐘 会長
2. ソング：それでこそロータリー
3. ビジター：西川雄策君(南砺 RC)
4. 会長の時間：西川さん、ようこそ。本日、次年度の活動計画書と一緒に旧バナーを贈呈いたします。銘々、記念にお持ち下さい。活動計画書をよく見て見ると、表紙も、色も中身も変わり、いよいよ新しい年度が始まるのだ、という心機一転の気持ちが湧いてきます。私自身は、本日がラス前で、後もう一回ということで嬉しい気分です。



さて、最近のニュースといえば「ホテル」。1 昨日の晩、近所の名所と言われる所を見てきました。まずは、福光の「瞞着川(だましがわ)」。7 時半頃、まだ明るかったせいか、見る人は 3 人で、ホテルは 2 匹しかいませんでした。次に井口と井波の境の干谷川(ひたにかわ)へ行くと、ランプや懐中電灯を持った人が一杯で、ホテルもたくさんいました。次に近所の西大

谷川も、たくさんいました。それから高瀬遺跡の勸行寺川には、少し出ていました。どこも、ホテルの多いところは、子供連れの鑑賞客が多く、逆に人の多いところがホテルがたくさん出ている場所とわかります。

5. 幹事報告：①「ハイライトよねやま」回覧します。寄付金傾向来ております。②例会変更は、事務局にお問い合わせください。③新年度に向けて、角封筒の必要が出てきました。本日の理事会で検討します。
6. 委員会報告：①河合エレクト：来週木曜夜(28 日)プリマヴェーラで、高瀬会長・浅田幹事のお疲れさん会を開催します。会費は当日徴収します。それから、新年度懇親会は、7 月 11 日(水)三楽園ですので、ご出席下さい。②出席委員会 20 名中 16 名出席 (80.00%)
7. ニコニコBOX(SAA：本日 6 名 11000 円)

高瀬会長：西川さんようこそ。活動計画書も配布され河合年度に向けて着々と。来週、私の年度も大ラスです。

河合エレクト：。28 日会長幹事お疲れ様会、7 月 11 日新年度懇親会です。よろしくお願いします。

上田会員：結婚祝いに感謝。

山本会員：高瀬年度也大詰め、お疲れ様でした。先週末、北信越高校剣道大会にて、娘たち、惜しくも団体準優勝。娘も個人で 3 位と活躍して、嬉しかったです。

助田会員：早退お詫び。

岩崎 SAA : 早退お詫び。長谷川先生宜しくです。



卓話「いなみ国際木彫刻キャンプの 海外招待作家発掘について」 長谷川総一郎会員

長谷川会員：先日、岩崎さんから急にお願いをされまして、準備不足で卓話をします。本日活動計画書をもらいましたら、親睦委員長と会報委員長ということで、どんなことをすればいいのか、皆目わかりませんが、よろしくご指導ください。

さて、今回覧して頂いている「いなみ国際木彫刻キャンプ 20 年誌」ですが、発行したほやほやの本です。作製に携わったものとして、紹介いたします。中にもありますが、招待作家探しは、私の主な仕事でした。今も、モンテネグロの人とメールをしています。何年か前から付き合いがあり、招待できるか探っています。また、スイスへも、探しに行きたいと思っています。

いなみ国際木彫刻キャンプ(以下：キャンプ)の目的は、「井波彫刻の国際ブランド化」で、いなみや南砺市の生き残りを賭けたものです。有名な作家がたくさんいるが、残れるのは何人、今の時代なら AKB48 の総選挙などをして面白いのですが、1/4 世紀前には、思いもつかぬことです。

私の仕事は、キャンプの招待作家の事後評価もしています。スウェーデンやハンガリーの作家は、アトリエにキャンプの桃太郎旗を飾っています。彼らは、称号や受賞の経歴を重要視します。私が欧州に行くと、離れた所からでも、自分をキャンプに招待してくれと売り込みに来ます。

キャンプも当初は、閑乗寺で、彫刻協同組合と美術協会などが中心でしたが、最近は、瑞泉寺を会場とした、住民を巻き込む形での開催となってきました。

また、井波にも、彫刻と工芸がある様に、キャンプはどちらかだけでなく、彫刻と特に現代工芸も一緒にしたハイ

ブリッドな展覧会にしようということになりました。

この 23 年間に、招待作家は 40 カ国から来てもらいました。当初、芸文協との話し合いでは、5 大陸全てから呼ぼうという計画でしたが、その通りになりました。回が進むにつれ、なるべく新しい国の人を呼ぼうとしました。来てみてわかったのは、アルコール中毒の人だったこともありました。ハンガリーから一番多く来ていて、次いで、交流の為、中国・韓国が多いです。国内招待作家できたことのある古川さんは、世界の彫刻家を見てきたが、特に最近では欧州が不況で、更に彫刻家も不況が深刻ということで空いた。世界の国々は、それぞれ生き物のように動いており、ある日からその国がなくなったりもします。前に、リトアニアの作家は、ソ連の国旗を拒否したりもしました。国際キャンプには、リスクはつきものです。

今、今回のキャンプの準備をしています。彫刻を理解して、英語を話すことのできる人材がいれば、任せたいのですが、私が中心に、海外に行って通訳なしで交渉していますが、そういう面では、国際ロータリーで、協力できることがあればしてほしいものです。国際キャンプに来る作家は、真剣に作品を作る人がいいです。2015 年のキャンプは、来年までに招待作家を決めなければなりません。

キャンプの「20 年誌」は、次のキャンプの資金集めに、大企業や大学教授などに配布されるでしょう。趣意書をしっかり書かないとお金が出ない時代です。

世界を見ても、「創造と文化」だけでは、飯は食えないです。経済をいかにつなげていくかだと思います。いい例が、金沢の、市街地を博物館にということで 21 世紀美術館ができました。世界でも過去の産業がダメになって文化で再興した地方都市がいくつかあります。スペインのビルバオ、ルーマニアのシビウなどです。南砺市にも、井波の木彫、福野のスキャキ、利賀の演劇などがあり、時間がかかるがこれから、どのように生かすがが大事です。

これからも、海外の作家を探さなければなりません、いい方法があれば教えてほしいです。いま、モンテネグロ、マケドニアといった新しい国に作家を呼ぼうとしています。

(卓話資料)「作家一覧」「キャンプの総括と展望」……

「TONAMINO2012 となみ野美術館 2012」砺波地方在住の美術作家による総合美術展の招待券も頂きました。